

NEWS 絆

東北生産性本部

第42回仙台シンポジウム12月例会開催

2020年世界の潮流を読む

第42回仙台シンポジウム12月例会は、(一財)日本総合研究所 会長 寺島 実郎 氏を講師にお迎えし、約60名の参加を得て開催いたしました。

■12月例会(2019年12月3日開催)

講師 (一財)日本総合研究所 会長 寺島 実郎 氏

プロフィールなど

1947年生まれ。1976年早稲田大学大学院政治学研究科修士課程修了。三井物産(株)入社後、ワシントン事務所長、三井物産戦略研究所所長等を歴任。現在、多摩大学学長、三井物産戦略研究所会長。著書に「新経済主義宣言」(石橋湛山賞)、「シルバー・デモクラシー」等多数。

【ご講演要旨】

今後の我が国や世界の方向性について、国際関係から経済、宗教まで幅広く、ご講演いただきました。

○世界における日本の埋没

- ・世界のGDPにおける日本のシェアは1988年の16%から2018年は6%に低下。
- ・一方、日本を除くアジアは6%から23%に上昇した。

- ・15～20年後の日本のシェア



は3%程度とするのが大方の予想。日本はアジアのダイナミズムを吸収し成長につなげなければならぬ

○華人・華僑のネットワーク

- ・華人・華僑は世界に7千万人いる。
- ・華人の資本・技術を取り込み中国は成長した。
- ・華人は中国の動きを注視しており、香港の事態が長引いている一因となっている。

○米国の失敗

- ・米国は、中東で善意の仲介者の立場を放棄し、レジティマシーを失った。
- ・中東では地域パワーが復権し、液状化しており、誰もコントロールできない状況となっている。

○ジェロントロジー

- ・日本がダイナミズムを取り戻すには高齢の社会参加が必要。
- ・高齢者の社会参画を促すプラットフォームは、一次産業が近くにあると作りやすい。
- ・今後の世界人口の増加への対応や保水力の維持のため農業に真剣に取り組む必要がある。

○宗教

- ・日本のニュータウンには宗教施設がない。どう生きて死ぬかを欠いた老人になる。
- ・宗教性がないと最期のときにパニックになる。

以上、大変有意義なご講演ありがとうございました。